

グローバル・スタートアップ・エコシステム強化事業

令和3年度予算案額 11.3億円（13.0億円）

(1)～(3)
経済産業政策局 新規事業創造推進室
03-3501-1569
商務情報政策局 情報経済課
03-3501-0397
産業技術政策局 技術振興・大学連携推進課
03-3501-1778

事業の内容

事業目的・概要

- Society5.0の実現のため、イノベーションの担い手であるスタートアップは重要な存在ですが、我が国発のユニコーン企業（創業10年未満で時価総額10億ドルを超える企業）は依然として少ない状況です。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、スタートアップ企業においては資金調達の不確実性や、営業・研究活動の停滞による収益化の遅れなどが懸念されている状況です。
- 今後、コロナショックからのV字回復を目指し、第4次産業革命の下で、我が国の国際競争力を取り戻すため、スタートアップ・エコシステム（グローバルにインパクトを生み出す起業家やスタートアップ、イノベーション企業が自律的、連続的に生み出される仕組み）をより一層強化し、世界で勝てるスタートアップを次々と創出することが急務です。
- 本事業では、「J-Startup」プログラムに参加する企業を含め、我が国スタートアップのニーズを的確に把握し、各フェーズに合った支援を行い、ユニコーン企業への成長を促進します。また、ユニコーン企業の創出に向け、グローバルに活躍できるイノベーターの育成やソフトとハードの融合領域におけるスタートアップ企業への量産・事業化等支援を実施し、スタートアップ・エコシステムの基盤となるプレイヤー層を強化します。

成果目標

- 2025年度までに、時価総額10億ドル以上となる、非上場企業（ユニコーン企業）または2018年度当初時点で創業10年未満（未創業も含む）であった上場企業を50社創出します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

(1) J-Startupプログラムにおける海外支援

- J-Startup企業等について、海外のスタートアップイベントへの出展をサポートするとともに、海外のイノベーション拠点に設置するハブでニーズに応じた支援（現地ネットワークとのマッチング、メンタリング等）を継続的に実施します。その際、海外の企業やスタートアップとも連携等を図り、グローバル・スタートアップ・エコシステムのさらなる強化を図ります。
- また、国際的に評価の高い海外カンファレンスの日本誘致を行い、海外のベンチャーキャピタルやアクセラレーター、スタートアップ企業を呼び込み、我が国のエコシステムの多様化を図ります。

(2) J-Startupプログラムにおける国内支援

- J-Startup企業等について、国内のスタートアップイベントへの出展支援やサポーター企業等とのマッチング支援、国内広報活動等を実施します。
- グローバル企業に打ち勝つ為に、ソフトとハードの融合領域に着手し、総合力のアップを目指します。その為にもハード特有の難しさに対する課題解決を過去事業のロールモデルから公にし、スタートアップエコシステムが自律的に成長していく基盤の強化を図ります。

(3) スタートアップ・エコシステムの基盤強化

- 起業当初よりグローバルで活動する事業モデルを構築できるようなイノベーターを育成し、スタートアップ・エコシステムの基盤を強化します。
- また、各種施策の利用促進、効果測定等のための調査等を実施し、スタートアップの成長を促進する環境を整備します。

